

150625

# 「新たな高齢者向け 住まい提案を」

## 高住協セミナーで記念講演

道高齢者向け住宅事  
業者協会は総会記念  
「事業者・市民セミナ



橋口課長補佐

」を20日、札幌市内で開いた。記念講演した橋口真依厚生労働省老健局高齢者支援課課長補佐は、高齢者向け住まいの在り方について「関係者など意見交換しながら検討していくことが必要。新たな高齢者向け住まいを提

案してほしい」と呼びかけた。

橋口課長補佐は「高齢者向け住まいの現状と今後の展望」をテーマに講演。定期巡回・随時対応サービスや小規模多機能型居宅介護などの介護サービス、在宅医療などに取り組む診療所等を併設する形態に期待し、「入居者だけでなく、地域に向いて支援するサービス供給拠点としての役

### 9月に虐待防止研修

セミナー終了後、同協会は2015年度総会を開き事業計画などを審議した。

サービス付き高齢者向け住宅登録時に提出する「高齢者の虐待防止策に関する確認書」で職員研修が位置付けられているため、対応する研修として、新たな

割・機能を求めた。7月から適用される有料老人ホーム標準指導指針見直しのポイントに▼既存建築物・小規模建築物が規模・構造基準を満たさない場合は代替措置の確保改善計画策定、都道府県の個別判断で認める

に「サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修」を9月に実施。

高齢者向け住宅に対する外部インフォーマルサービスの情報提供、活用可能な仕組みづくりへ、「外部サービス斡旋・仲介事業」を検討・実施。互いの高齢者住宅を訪問する「会員相互交流」を10月をめどに行う。

▼入居者自ら外部サービスを選擇できる環境整備▼有料ホームに該当するサービス付き高齢者向け住宅を対象に位置付ける一を挙げ、「未届け施設の把握が大事。把握を促す取り組みを進めたい」とした。